

授業科目	英語教科教育法Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN34110J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP4-3			
担当教員	安海 和枝							
授業概要	日本における英語教育の歴史的変遷を理解するとともに、さまざまな教授法の理論と特徴を概観する。授業形態の特徴や4技能(Listening/Speaking/Reading/Writing)の効果的な指導技術およびその統合に関して包括的な講義を行う。情報機器及び教材の活用方法について学び、実際の英語指導に活かせる知識と技術を身につける。また、小中高等学校における英語教育連携の在り方についても考察する。 英語教育学の分野における全体的な展望が得られるよう最新の研究成果を紹介し、教壇に立った時に役立つ理論と実践および指導技術を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 英語教師に求められる資質について自分の考えを持ち説明ができる。 電子黒板やパソコン等の情報機器及び教材の活用方法について学び、授業において効果的に使用できる。 教科書と教材研究について、理論を理解した上で実際に教材分析を行い、説明することができる。 文法の学習と指導について、理論を理解したうえで実際に効果的な文法指導を考え、説明することができる。 語彙と辞書指導について、理論を理解した上で実際に効果的な語彙指導を考え、説明することができる。 授業運営、教育実習について理解し、重要なポイントが説明できる。 学習指導案について理解し、実際に作成することができる。 学習指導案に基づき、簡単な模擬授業を行うことができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	20	20	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			10				10	
知識・理解 (DP1-2)	20						20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		10	10			30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)					10		10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	20			10			30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
学んだことを、自分の言葉で他の人に分かりやすく説明できる。 また、学んだことを基に自分で工夫して実践することができる。				<ol style="list-style-type: none"> 英語教師に求められる資質について自分の考えを持ち説明ができる。 電子黒板やパソコン等の情報機器及び教材の活用方法について理解し、授業において効果的に使用できる。 教科書と教材研究について、理論を理解した上で実際 				

		<p>に教材分析を行い、説明することができる。</p> <p>4. 文法の学習と指導について、理論を理解したうえで実際に効果的な文法指導を考え、説明することができる。</p> <p>5. 語彙と辞書指導について、理論を理解した上で実際に効果的な語彙指導を考え、説明することができる。</p> <p>6. 授業運営、教育実習について理解し、重要なポイントが説明できる。</p> <p>7. 学習指導案について理解し、実際に作成することができる。</p> <p>8. 作成した学習指導案に基づき、簡単な模擬授業を行うことができる。</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1 英語教科教育法Ⅱの授業ガイダンス 授業概要を説明し、達成目標、評価内容や方法について説明する。英語科教育の目的、英語教師の資質について考え、話し合いを通して互いの意見を深める。	講義・演習	復習:該当部分の復習	90
2	2 ICTとeラーニング 語学教育におけるICTの役割について理解し、効果的な利用の仕方について考える。	講義・演習	予習:該当部分の予習 レポート発表の準備	90
3	3 教科書と教材研究 教材研究の意義、教材の評価、教科書の分析について考察する。 ICT活用についてレポート発表を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習 レポート発表の準備	90
4	4 文法の学習と指導 文法指導の理論的意義とコミュニケーション能力を育成するための文法指導の方法について理解する。 教材研究についてのレポート発表を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習 レポート発表の準備	90
5	5 語彙と辞書検索指導 学習者がいかに語彙数を増やし、それを「使える」語彙にするかについて考察する。 効果的な文法指導についてレポート発表を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習 レポート発表の準備	90
6	6 授業運営・教育実習 教師と生徒が互いに学び、啓発しあう授業の運営について考察する。 学習指導案の書き方について学ぶ。 語彙指導についてレポート発表を行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習	90
7	7 授業づくりの実践(1) warm-upと帯活動について、効果的な方法を学ぶ。英語での活動の指示の出し方を学ぶ。	講義・演習	予習:該当部分の予習	90
8	8 授業づくりの実践(2) 文法の導入や練習の方法について学び、効果的な導入と練習例を考える。 (グループ活動)	講義・演習	予習:該当部分の予習 グループ発表の準備	90
9	9 授業づくりの実践(3) 効果的な文法の導入と練習の方法について実践発表を行う。(グループ活動)	講義・演習	予習:該当部分の予習	90

10	10 授業づくりの実践(4) 教科書本文の内容理解の方法について 学び、効果的な内容理解の導入と読解 活動を考える。(グループ活動)	講義・演習	予習:該当部分の予習 グループ発表の準備	90
11	11 授業づくりの実践(5) 効果的な教科書本文の内容理解の方法 について実践発表を行う。(グループ 活動)	講義・演習	予習:該当部分の予習	90
12	12 模擬授業(1) 文法の導入と練習について、模擬授業を 計画する。(ペア活動)	講義・演習	予習:該当部分の予習 模擬授業の準備	90
13	13 模擬授業(2) 文法の導入、練習の模擬授業を行う。 (ペア) シェアリングを行う。	講義・演習	予習:該当部分の予習	90
14	14 模擬授業(3) 教科書本文の内容理解の導入、読解活動 の授業計画を行う。(ペア活動)	講義・演習	予習:該当部分の予習 模擬授業の準備	90
15	15 模擬授業(4) 教科書本文の内容理解の導入、読解活動 の模擬授業を行う。(ペア) シェアリングを行う。	講義・演習	授業を行うために大切なこと や、自分の課題を整理する。	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	英語教科教育法Ⅰで学んだ知識や技能。			

テキスト	文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』(2017) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編』(2018) その他、教員が適宜に資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省『中学校学習指導要領』(2017) 文部科学省『高等学校学習指導要領』(2018)
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「英語で授業を行う」ために英語力強化を目指し、継続的に英単語力・英文法力・構文力を身につけるように努めること。(英検や TOEIC を積極的に受検すること) 2. 毎回、次時の講義で取り扱われる範囲の内容を事前に熟読の上、教科書を予習して来ること 3. 英語教育に関する新聞記事や時事問題には日頃から敏感になり、情報収集に努めること 4. 英語教師としての資質を磨き高めるため、日頃から自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導には積極的に参加すること
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<ol style="list-style-type: none"> ①テスト(50%) ②レポート(20%)・・・毎回の課題レポート。成果や課題を書面でフィードバック。 ③発表(プレゼンテーション)(20%)・・・毎回の課題レポートを口頭で発表する。その場でコメント。 ④レポート以外の提出物(10%)・・・見学したプレゼンや模擬授業のフィードバック。成果や課題を書面でフィードバック。 <p>※①～④を総合的に評価する。</p>